

職員による自己評価

A環境面

- ・必要な人員等は確保されている
- ・マンション内の一室の為、全館バリアフリー化は困難である
- ・運動する部屋と他の部屋が分かれている為、動から静への切り替えが出来る

B児童への支援内容

- ・療育前後の打ち合わせを実施している
- ・子どもの特性に合わせた支援を心掛けています

C関係機関との連携

- ・幼稚園や学校送迎時に様子を確認している
- ・児童館や学童との交流はありません

D保護者への説明責任・信頼関係

- ・契約時の重要事項説明書にて利用規定を説明しています
- ・送迎時や連絡帳で保護者とコミュニケーションを取っています
- ・毎月お便りを発行しています

E非常対応

- ・アレルギーに関しては、契約時に聞き取りを実施し対応しています
- ・緊急時や感染症対応に関してのマニュアルは、契約時に説明後、配布しています

保護者による評価

A環境面

- ・玄関と活動フロアが分かれているればより安全だと思います
- ・玄関までの階段の手すりがドアと反対側にあるので危ないと思います

B児童への支援内容

- ・施設外での活動はない為、障害のない子との交流はない

C事業所からの情報発信

- ・通所をととても楽しみにしている
- ・毎週楽しくプログラムをさせてもらっていますが、サービス計画を見てない

D非常対応

- ・送迎の際や連絡帳での情報交換は出来ている
- ・毎月のお便りである
- ・避難訓練はまだした事がないです

事業所内での分析

【共通点】

- ・保護者会は現在行っていない
- ・保護者と事業所間で情報交換は出来ている
- ・施設外での他との交流はない

【相違点】

- ・事業所内外の施設設備には問題点は見受けられないと思っていたが、今回のアンケートにていくつか指摘点が出た

分析・検討してみて…

### 事業所の強み

- ・子どもの特性に合わせたプログラムを実施している
- ・運動する部屋と活動部屋の2部屋がある為、動から静への切り替え及びクールダウンが出来る
- ・保護者に子どもの様子をしっかりと伝えている

### 事業所の改善点

- ・ホームページの更新頻度
- ・避難訓練の実施
- ・施設内外の改善
- ・家庭や関係機関とのより深い情報交換

### 事業所の改善への取り組み

- ・避難訓練を実施していく
- ・ホームページやお便りで活動内容を分かり易くお知らせしていく（活動周知の不足改善）
- ・実際に子どもの様子を見てもらうべく、年に数回見学ウイークを実施していく
- ・施設外の手すり導入検討

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

保護者からの評価回答が配布数より少なかった為、一部の評価のみとなってしまいましたが、頂いた回答に関しては、今後の活動に出来るだけ反映させていきたいと思っております。

事業所名 のびの木 みつきょう

担当者 松田 聖彦